

総合企画局
 (担当: 情報化推進室統計解析担当)
 (電話: 075-222-3216)

令和2年国勢調査による京都市の人口(速報値)について

令和2年10月1日現在で実施された国勢調査の結果について、総務省統計局による速報値の公表に先立ち、本市が集計した結果を取りまとめましたのでお知らせします。

なお、今回公表する集計結果は、総務省統計局が後日公表する速報値とは異なる場合がありますので御注意ください。

1 結果の概要

(1) 全市の結果 — 5年前に比べ人口は減少・世帯数は増加 —

京都市の人口は1,464,890人、世帯数は727,566世帯となりました。

前回の平成27年国勢調査(以下、「前回調査」という。)と比べると、人口は10,293人の減(0.7%減)、世帯数は21,692世帯の増(3.1%増)でした。

(2) 行政区別の結果 — 3行政区で人口増・10行政区で世帯数増 —

行政区別に人口をみると、最も多いのは伏見区で278,131人、次いで右京区の202,193人、左京区の166,254人の順となっています。

前回調査と比べると、人口が増加した行政区は3区で、最も増加したのは南区(2,107人、2.1%の増)、次いで中京区(1,216人、1.1%の増)、下京区(143人、0.2%の増)の順となりました。

また、世帯数は東山区で899世帯の減(4.2%の減)となり、他の10行政区では増加しました。

表-1 平成27年と令和2年の国勢調査における人口及び世帯数の比較

(単位:人,世帯 各年10月1日現在)

地域名	平成27年国勢調査 (確定値)		令和2年国勢調査 (速報値)		増減数		増減率(%)	
	人口	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数
京都市	1,475,183	705,874	1,464,890	727,566	△10,293	21,692	△0.7	3.1
北区	119,474	56,804	117,252	57,021	△2,222	217	△1.9	0.4
上京区	85,113	46,849	83,949	47,955	△1,164	1,106	△1.4	2.4
左京区	168,266	83,423	166,254	85,268	△2,012	1,845	△1.2	2.2
中京区	109,341	59,085	110,557	60,597	1,216	1,512	1.1	2.6
東山区	39,044	21,381	36,651	20,482	△2,393	△899	△6.1	△4.2
山科区	135,471	60,451	135,194	64,265	△277	3,814	△0.2	6.3
下京区	82,668	47,206	82,811	48,107	143	901	0.2	1.9
南区	99,927	47,094	102,034	50,389	2,107	3,295	2.1	7.0
右京区	204,262	94,525	202,193	97,658	△2,069	3,133	△1.0	3.3
西京区	150,962	63,109	149,864	64,975	△1,098	1,866	△0.7	3.0
本所	98,720	42,295	100,029	44,142	1,309	1,847	1.3	4.4
洛西支所	52,242	20,814	49,835	20,833	△2,407	19	△4.6	0.1
伏見区	280,655	125,947	278,131	130,849	△2,524	4,902	△0.9	3.9
本所	166,367	72,864	165,546	76,139	△821	3,275	△0.5	4.5
深草支所	61,632	30,513	61,710	31,884	78	1,371	0.1	4.5
醍醐支所	52,656	22,570	50,875	22,826	△1,781	256	△3.4	1.1

2 前回調査からの人口の変動要因の分析

社会動態（転入数から転出数を差し引いた人数）は増加しましたが、自然動態（出生数から死亡数を差し引いた人数）の減少分が社会動態の増加分を上回った結果、総人口が減少しました。

(1) 自然動態（出生、死亡）の状況

出生数が死亡数を下回る傾向が拡大し、自然動態については、前回調査からの5年間で 22,226 人の大幅な減少となりました。本市においても少子化傾向が更に進展しています。

表－2 前回調査から令和2年国勢調査までの期間における京都市の自然動態

	H27年10月 ～H28年9月	H28年10月 ～H29年9月	H29年10月 ～H30年9月	H30年10月 ～R元年9月	R元年10月 ～R2年9月	5年間の累計 (H27年10月～R2年9月)	【参考】 前回5年間の累計 (H22年10月～R27年9月)
出生数 a)	11,323	10,677	10,262	9,900	9,548	51,710	56,800
死亡数 b)	△14,130	△14,582	△14,959	△15,036	△15,229	△73,936	△70,503
自然動態 (a - b)	△2,807	△3,905	△4,697	△5,136	△5,681	△22,226	△13,703

出典)京都市人口動態調査

(2) 社会動態（転入、転出）の状況

本市への転入数から、市外への転出数を差し引いた社会動態については、前回調査からの5年間で、4,773人の増加となりました。学術や文化、大学のまちといった京都の魅力向上も要因として考えられます。

なお、令和元年10月以降の1年間は減少しており、これは新型コロナウイルス感染症の影響で、留学生を含む学生の転入数の減少が主たる要因だと考えられます。

表－3 前回調査から令和2年国勢調査までの期間における京都市の社会動態

	H27年10月 ～H28年9月	H28年10月 ～H29年9月	H29年10月 ～H30年9月	H30年10月 ～R元年9月	R元年10月 ～R2年9月	5年間の累計 (H27年10月～R2年9月)	【参考】 前回5年間の累計 (H22年10月～R27年9月)
転入数 a)	53,175	52,787	53,987	56,078	48,732	264,759	252,143
転出数 b)	△50,154	△50,765	△51,476	△52,512	△50,523	△255,430	△241,043
その他増減 c)	△677	△851	△894	△1,170	△964	△4,556	△2,757
社会動態 (a - b + c)	2,344	1,171	1,617	2,396	△2,755	4,773	8,343

出典)京都市人口動態調査

表－4 国外から京都市へ転入した15歳から29歳までの外国人数

	H27年10月 ～H28年9月	H28年10月 ～H29年9月	H29年10月 ～H30年9月	H30年10月 ～R元年9月	R元年10月 ～R2年9月
15歳～19歳	1,005	1,163	1,497	1,648	518
20歳～24歳	2,894	3,380	3,792	4,192	1,034
25歳～29歳	1,354	1,403	1,604	1,692	706
合計	5,253	5,946	6,893	7,532	2,258

出典)京都市人口動態調査

注) 自然動態及び社会動態については、住民基本台帳上の異動を集計したものであり、国勢調査とは集計方法が異なることから、国勢調査における人口の増減数とは一致しません。

3 詳細なデータの公開及び今後の予定

本市の統計データをまとめたウェブサイト「京都市統計ポータル」にて、地域別の詳細なデータを公開します。

なお、令和3年11月以降、総務省統計局により、確定値である詳細な集計結果（年齢別人口等）が順次公表される予定です。その後、京都市の集計結果をまとめた刊行物「京都市の人口」の作成、販売を行います。

<速報値のウェブサイトでの公開>

- 日 時 令和3年6月22日（火）午前10時
- サイト名 京都市統計ポータル 令和2(2020)年国勢調査
- 内 容 国勢統計区別・公称町別の世帯数及び男女別人口
- URL <https://www2.city.kyoto.lg.jp/sogo/toukei/Population/Census/2020/>